

再建

—東日本大震災の国の復興支援をどう評価するか。

「復興交付金は、既存の事業を並べた既製服のようなもので、被災地が体を合わせないといけない。事業費は事実上、全額国庫負担となるが、道路整備など40事業から選択する仕組みだ」

「2004年の中越、07年の中越沖地震では復興基金が中心だった。財団法人が、地方債の利息などを使い、個人や会社を直接支援出来る。事業を公募するなど、自由度が高いオーダーメイドの支援だ。この部分を増やす必要がある」

—オーダーメイドの効

自由度高い、支援増やせ

果は。

「長岡市や南魚沼市などでは復興支援員がいて、ボランティアの受け入れ調整や、農産物の販売促進を支援している。旧山古志村では路線バスが廃止になり、NPOが運行している。い

ずれも復興基金でカバーした。中山間地ではコミュニティの力が大きいので、それを活用した方が効率的で安上がりだ」

重することが大切だ。旧山古志村では、避難した村民2200人のうち1400人が帰還したが、苦渋の選択で帰る決断をした人は強い。帰還や離郷を押し付けられたと感じると、いつまでも吹っ切れない。行政は

情報を提供したら、住民の決定を待つ度量も必要だ」

「住民は、帰還時期が見えないまま、待ち続けるのが一番つらい。首長は、何年以内に戻る、何年間は帰還できない、と目安を示してほしい。目標を掲げ、それに向かって努力している間は我慢も出来る。旧山古志村でも、村長が帰村の目標時期を示している」

避難者の自己決定を尊重

森民夫
新潟県長岡市長



「オーダーメイドの支援が大切」と訴える森民夫・長岡市長

もり・たみお 長岡市長。2009年から全国市長会長。旧建設省出身で、阪神大震災では建築物危険度判定支援本部長として現地入り。62歳。

要なもの。被災地の活性化に必要なものは。

「長岡では、震災ボランティアとの付き合いが続いており、今年も除雪の手伝いに来てくれた。震災で過疎は加速するが、外部との交流が住民を元氣付けている。つながりの継続には、復興支援員が一役買っているが、非常時には一見、無駄遣いに見えても、長期的には役立つことに予算を割くゆとりも大切だ」

復興掲示板

東日本大震災

情報をお寄せください。〒104・8243 読売新聞東京本社 復興掲示板取材班へ郵送、ファクス(03・5200・1836)、電子メール

(maishin@yomiuri.com)で、住所、氏名、連絡先の電話番号を記してください。インターネットなどで使うこともあります。